



ながはま見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちょびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。

▲市ホームページ ▲ほっとにゆ〜す

2月14日(金) 市内の施設で利用します

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、市内で不織布製品を製造している株式会社橋本クロスから、同社製のマスク6万枚の寄贈を受けました。
橋本浩之社長は「マスクの供給が追いついていない状況が続いている。少しでも地元で恩返しになれば」と話しました。
マスクは、市内の給食センターなどで活用するほか、福祉施設などに提供されます。



2月23日(日・祝) 曳山祭の開演を祝う「三番叟」の役者が決定

長浜曳山祭で三番叟を演じる子ども役者を決める「矢籤神事」が長浜八幡宮で行われました。
三番叟の役者は市内の小学3～5年生を対象に公募され、今年は7人の応募がありました。
今年は、田根小学校3年生の速水寛大さんが当たり矢を引き当て、三番叟役者に決められました。「稽古を頑張って、いい演技がしたい」と意気込みを語りました。



2月14日(金) 学習成果を発表しました

長浜市特別支援学級小・中合同学習発表会が開催され、市内の3つの地区の各会場で、日頃の学習成果が発表されました。
木之本スティックホールで行われた伊香地区の開会式で、市長は、「練習したことを精一杯頑張って、友達の良いところを見つけて応援してあげてください」と挨拶しました。会場では「長靴をはいた猫」などの劇や影絵の発表が行われ、訪れた人を楽しませました。

2月14日(金) 本物の熱気球で実験

南郷里小学校の運動場で熱気球の係留飛行が行われました。同校4年生の理科の授業の一環で、熱気球の歴史や仕組みについて学び、各クラスで用意したモデルバルーンを飛ばす実験をしたあと、運動場で本物の熱気球の係留飛行を見学しました。
児童たちは、空気を温めるバーナーの大きな音やふくらんだ熱気球の大きさに驚きながらも、ゆっくりと地面から浮かび上がる熱気球に手を振り、大きな歓声を上げていました。



2月24日(月・振休) 市役所の仕事の魅力を発信

市役所の仕事内容や魅力を大学生や社会人にアピールする「公務員フォーラム」が滋賀県文化産業交流会館(米原市)で開催されました。
長浜、彦根、高島の3市が協力しあい、地域の魅力や公務員の仕事の楽しさ、やりがい等をスライドや動画を使いPRしました。参加者たちは「3市の色々な取組みが聞けてよかった」などと話しました。

3月4日(水)～8日(日) 長浜の盆梅と大山和傘のコラボが実現!

長浜盆梅展会場で、盆梅と大山和傘のコラボライトアップが開催されました。
大山和傘とは、鳥取県西部の伝統工芸で若い職人が一本一本作り上げたもの。慶雲館本館2階の座敷に、夜の灯りとともに浮かびあがる梅と和傘が、幻想的な「和」の空間を作りあげました。訪れた人はそれぞれの歴史と文化が織りなす美しい空間を楽しみました。



2月14日(金) 園児手づくりの看板で交通安全を啓発

南郷里幼稚園で、園児と保護者らが製作した交通安全看板がお披露目されました。
幼稚園西側の道路は車の通行量が多く、園児らの通園時は見守りが欠かせないことから、地域ボランティア団体の「南郷里つくし隊」が交通安全の啓発看板の設置を提案。園児と保護者らで「飛び出し坊や」4体と、「手つなぎ園児」36体を完成させました。



3月4日(水) 長浜伊香ツインアリーナをもっと楽しく

木之本ライオンズクラブが、同クラブの結成55周年を記念して、ボルダリングを体験できるクライミングボードを長浜伊香ツインアリーナに寄贈しました。
市役所で行われた寄贈式で同クラブの西川徳衛会長は、「子どもから高齢者までみんなが楽しく過ごせる施設になれば」と述べました。市長は「長浜伊香ツインアリーナを市北部の振興のよりどころにしたい」と意気込みを語りました。